

# 委員会活動計画書

委員長名 鈴木 良美

<b>【委員会名】</b> 健康危機管理対策委員会	
<b>【メンバー】</b> ◎鈴木 良美(東京医科大学)、○石田 千絵(日本赤十字看護大学)、山下留理子(徳島大学)、 井口 理(日本赤十字看護大学)、嶋津多恵子(国際医療福祉大学大学院)、 當山 裕子(琉球大学)、佐藤 太地(日本赤十字看護大学)、 ¥堀池諒(大阪医科薬科大学) *奥田 博子(国立保健医療科学院)、*河西 あかね(全国保健師長会) *佐々木 亮平(岩手医科大学)	
<b>【活動方針】</b> 1. 感染症の健康危機管理に対する保健師教育の現状と課題を明らかにし、教育の強化に向けた提言を行う。 2. 昨年度完成した健康危機管理の視聴覚教材(感染症パンデミック・災害)活用の普及を図る。さらに健康危機管理に関する演習用視聴覚教材の内容を検討する。 3. 災害等(地震・津波・台風・感染症のパンデミック・その他)発生時に会員校に対し、迅速かつ適切な対応を図るため、情報収集、活動の調整と支援、情報発信等を行う。	
<b>2023(令和5)年度</b>	
<b>達成目標</b>	1. 調査結果から感染症の健康危機管理に対する保健師教育の現況と課題を明らかにし、教育の評価に向けた提言を行うことができる。 2. 昨年度完成した健康危機管理の視聴覚教材活用の普及を図るとともに、新たな健康危機管理に関する演習用視聴覚教材の内容を検討できる 3. 災害等発生時に、「災害発生時の支援指針」に則り、状況に応じて対応できる。
<b>活動計画</b>	1. 調査結果から感染症の健康危機管理に対する保健師教育の現況と課題を明らかにし、教育の評価に向けた提言を行う。なお、本活動は日本看護協会 感染拡大に備える看護提供体制の確保に関する調査研究助成事業に基づくものである。 2. 昨年度完成した視聴覚教材に関して研修会などを活用して普及を図る。さらに、この視聴覚教材を作成する中で新たな課題として演習教材の作成が必要と考えられたため、2024年度の完成を目指して、その内容を検討する。 3. 災害等発生時に、「災害発生時の支援指針」に則り、状況に応じて対応する。